

POPとIMAP

JJ1SXA/池

プロバイダーが変わり、久しぶりにメールの設定をやったが、今まで余り疑問を持たず、プロバイダーの提供するデータに基づいて設定をしていた。

SMTPは「Simple Mail Transfer Protocol」の略で、メールを送信するための通信プロトコルの一つだということや、メールを受信するための通信プロトコルは「POP」と「IMAP」という方式があること位は知っていたが、プロバイダーの指示は、「POP」で設定しろと言うことで、指示通り従っていた。

POP(ポップ)は「Post Office Protocol(ポストオフィスプロトコル)」、IMAP(アイマップ)は「Internet Message Access Protocol(インターネットメッセージアクセスプロトコル)」ということのようだが、どんな違いがあるのか何とも知らずにプロバイダーの指示に従って「POP」で設定していたが、POPとIMAPはどう違うのか。

さまざまなメールサービスがあるが、ご存じの通り、メールの種類は、大きく分けると(他の分け方もあるようだが…)、(1)ISP(インターネットプロバイダー)が提供する、プロバイダーメール、(2)無料WEBメール、(3)使い捨てメール(登録不要で使い捨ても可能な、いわゆる捨てアド、これもWEBメールの1種だ)、これ等の受信方法は2つ、プロバイダーメールでは、アプリ(オフィスソフトの、Outlook等)を利用するのが一般的、ウェブメールは名前の通り、ウェブブラウザでやりとりする。(だが、基本的にどちらもアプリとブラウザの双方で利用可能)。

一般に、メールアプリでメールを受信する際は、「POP」や、「IMAP」といったプロトコル(手順)で通信する、2つの違いは、POPサーバーがメールサーバーから受信者のパソコンなどにメールをダウンロードさせるのに対して、IMAPサーバーはメールサーバーにメールを保存したまま読むことを可能にすることだ。

POPでは、サーバーに届いたメールをメールアプリがダウンロードすると、原則としてサーバー上からは削除される、このため、他の端末では受信できない。

一方のIMAPは受信したメールをサーバー上に保存しておき、複数の端末から同じメールを読める、スマホの普及で複数台アクセスが当たり前となった今はIMAPが主流になったが、IMAPはサーバー側の負担が大きいのが泣き所、膨大なストレージ容量が必要なほか、複数のTCP/IPセッション(ソフト的な通信経路)を張りっぱなしにすることが多い、メールサービス事業者は設備投資が必要で、一部のプロバイダーではIMAPの利用が有料や非対応だったりする。

大手プロバイダーの内「OCN」、「ぷらら」、「ビッグロブ」は無料だが、「Sonet(月額88円)」、「@nifty(月額110円)」は有料だ。

有料でもIMAPにはそれだけの価値があるのだ、Outlookアプリ等で、メールをサーバーに残す設定をして、他のPCでも受信可能にできるが、POPは一方通行だから、受信したメールにフラグを付けても他のPCには反映されないし、送信済メールもそれを送ったPCでしか確認できない、複数台で受信するなら、矢張りサーバー上でメールを管理するIMAP方式だ。

フラグを付けるなどの操作をするとサーバーにも反映されるのでどのPCでも同じように表示される。

ご存じでしょうが、ちなみに、メールフラグとは、メールに目印として設定する旗マークのことを指します、重要なメールや後で確認する必要があるメールなどに目印としてフラグを設定しておけば、後で、直ぐに該当のメールを見つけるのは容易だ。

先に示したように、大手プロバイダーは無料の所もあり、有料の所もあるし、大手以外のプロバイダーでは非対応の所もありますが、対応していれば、プロバイダーメールの設定を、POP方式からIMAP方式に変える事は可のようです。

プロバイダーメールを、POP方式からIMAP方式に変える時は、最初に、POPの接続設定を削除する、そうしないと、同じメールアドレスの接続設定は作れないからだ。

「アカウント設定」の画面を開き、次に「メール」タブを開き「POP」の接続設定を削除、「新規」をクリックしてIMAPの接続設定を作成する、メールアドレスを入力、詳細オプションから手動設定を選び、「IMAP」を選択して、プロバイダーメールのパスワードを入力すれば終り、IMAPサーバー名などは自動設定される。

POP方式で受信済みの過去メールを、IMAP方式に設定した他のパソコンで読む方法は、POP方式でメールをサーバーに残す設定をしていた場合は、他のパソコンからIMAPでアクセスした時、過去メールが受信トレイに表示される、POP方式でメールをサーバーに残さなかった場合は、POPからIMAPに切り替えたパソコンで、POPの受信トレイにあるメールをIMAPの受信トレイに移動すると、それらがIMAPのサーバーと同期して、他のパソコンからも読めるようになるようだ。

「メールを送った」と言われたのに、メールアプリの受信トレイには見当たらない、間違っ
て迷惑メール扱いされた可能性があるが、誤判定されたメールが、メールアプリの迷惑メールフォルダに入らないケースがままある。

迷惑メール対策は一般にサーバー上で行われる、Gmailやプロバイダーの多くは、サーバーに届いたメールを即座に迷惑メールフィルターにかけ、迷惑メールと判定したものをサーバーの迷惑メールフォルダに振り分ける、IMAP方式の場合、サーバー上の迷惑メールフォルダは、Outlook等のアプリでも見えるので、誤判定されたメールもここにあるので確認できるが、問題はPOP方式の場合だ、サーバー上の迷惑メールフォルダに振り分けられたメールはメールアプリには届かない。

だが、これを読む方法も皆無では無い、実は、先日WOB斉藤さんから、TWO FORTY誌の原稿をメールで送ったが届いたかとの確認があり、見ていないのであせったが、お陰で色々勉強できた。

以上のことから、断然、IMAP方式の方がPOP方式よりも有利だ、許されるなら、メールはIMAP方式で設定する方が良いと思う、プロバイダーは嫌がるでしょうが…

(2021年10月記)